

令和元年度 算数科授業の略案 (2 学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
6月24日 (月) (4校時)	3けたの数	100より大きい数をしらべよう
本時のねらい (5 / 13時) ○10を基にした数の相対的な大きさを理解する。		
評価規準 考230などの数を、10を単位として捉えることができる。(発言・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問 ・児童の活動)	留意事項・評価
【導入】 11:15	○前の時間の振り返りをペアで話し合しましょう。 ・100を何個と10を何個と1を何個合わせた数を話し合いました。 ・「200と50を合わせた数は250」は「 $200+50=250$ 」と書けることが分かりました。	・ノートや学習掲示を見るよう促すことで、前時の振り返りをしやすくする。
【展開】 問題提示 11:16 課題把握 ・シラバス ・言語わざ ・見通し 自力解決 11:28 ペア学習 11:35 集団解決 11:40 考察 まとめ 11:53	1 問題を提示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 10を14こあつめた数はいくつですか。 </div> 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 10をあつめた数について、ず、しき、言ばでせつめいしよう。 </div> 一人7分、ペア5分、全体13分、まとめ2分、振り返り5分 『～ですね。』をつかいながらせつめいしよう ○まず、10を14こ集めた数について、図、式、言葉で説明しましょう。 ・10が10こで100になりますよね。残ったのは10が4こで40ですね。合わせて140になります。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> $10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10 \ 10$ \downarrow 100 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> $10 \ 10 \ 10 \ 10$ </div> <div style="margin-right: 10px;">}</div> <div style="text-align: center;"> $10 \text{ が } 14 \text{ こ} \begin{cases} 10 \text{ が } 10 \text{ こ} \rightarrow 100 \\ 10 \text{ が } 4 \text{ こ} \rightarrow 40 \end{cases} \rightarrow 140$ </div> </div> ○次の問題を出します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 230は10をなんこあつめた数ですか。 </div> ○230は10を何個集めた数か、図、式、言葉で説明しましょう。 3 自力解決を行う。 ○自分の考えを、言葉や式を使ってホワイトボードに書きましょう。 4 ペアで意見を交換し合う。(隣→前後→立ち歩き) ○ホワイトボードを見せながら、考えを説明し合しましょう。 ・10円玉10枚で100円玉1枚に変わりますよね。100円玉は2枚できますよね。あと10円玉が3枚残るので、合わせて230円になります。 ・10が10こで100ですね。10が20こあるので100が2こできます。のこり30を合わせて、230です。 ・ $200+30=230$ と表せると思います。 5 考えを全体で話し合う。分かりやすく説明していた児童を推薦してもらい、全体の前で説明し合う。 ○ペア学習で、分かりやすく説明していた人を紹介して下さい。 ○今日の学習から、どんなことが大事だといえるでしょうか。 ・10がいくつあるか ・10のまとまりで考えること ・10が10こで100になること 6 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 10を14こあつめた数は140、230は10を23こあつめた数です。10のまとまりで考えると、わかりやすくなります。 </div>	キーワード 10のまとまり 10が10こで100 10を○こあつめた ・10円玉や100円玉の掲示物を使い、視覚的に考えやすくする。 ・言葉で書けている児童には、その説明を式で表すよう促す。 ・考えが浮かびにくい児童には、穴埋め形式のヒントカードを用意して説明しやすくする。 ・3名ほどのホワイトボードを黒板に掲示する。 考230などの数を、10を単位として捉えることができる。(発言・ノート)
【終末】 振り返り 11:55	7 学習したことを振り返る。 ・○○さんの説明が、図を使っていて分かりやすかったです。 ・10のまとまりで考えることが大事と分かりました。	・「友達の考えを聞いて思ったこと」を振り返りに入れるようにする。